

2018年4月24日



ルック JTB 50 周年事業

オーストラリア観光資源保護へ貢献するため

「自然保護、動物保護、先住民族サポート」3 団体へ寄付しました

株式会社 JTB（東京都品川区、代表取締役社長：高橋広行）は、「ルック JTB 50 周年事業」の一環として、オーストラリアの観光資源保護へ寄与するため、自然保護活動、動物保護活動、先住民族サポートを行う 3 団体へ総額 A\$55,000 を寄付しました。

JTB は「地球を舞台に、人々の交流を創造し、平和で心豊かな社会の実現に貢献する」の企業理念に基づき、自然環境・歴史的遺産・人々の織りなす文化など、地球上のかけがえのない資産を大切にします。

<寄付先>

(1) 団体名：グレートバリアリーフ・サンゴ礁保護基金(Reef Restoration Foundation)

活動概要：死滅しつつあるグレートバリアリーフのサンゴ礁再生を目的として作られた基金。ケアンズ沖のフィッツロイ島にサンゴ礁再生用ファームを持ち研究、再生プログラムを実施している。(所在地：ケアンズ)

(2) 団体名：カランビン・ワイルドライフ・サンクチュアリ(Currumbin Wildlife Sanctuary)

活動概要：非営利団体として運営する野生動物保護園。カランビンワイルドライフ病院にて、負傷した野生の動物を無料でケアしている。(所在地：ゴールドコースト)

(3) 団体名：ムティジュル財団 (Mutitjulu Foundation)

活動概要：2003 年に Voyages グループが設立した基金。ウルルの先住民族のムティジュルのコミュニティを健康、教育、経済活動の参加などの面からサポートを行っている。(所在地：ウルル (エアーズロック))



サンゴ礁保護基金との調印式の様子



<写真提供>
Reef Restoration Foundation



<写真提供>
Currumbin Wildlife Sanctuary

JTB では、オーストラリアへの渡航者拡大と持続可能なツーリズム実現の為、2018 年度「グローバル・デスティネーション・キャンペーン」を展開しています。JTB とオーストラリア政府観光局が共同で、マーケティング、プロモーション活動、商品開発や各種セミナーを行い、団体旅行、MICE、教育旅行、個人旅行のあらゆる分野において、オーストラリアへの渡航者拡大を図ります。2018 年度は、団体・個人合わせて 8 万人の送客を目指しています。

<報道関係の方からのお問い合わせ先>

JTB 広報室 03-5796-5833